

資料1

令和7年度当初予算(案) 概要

予算編成の基本的な考え方

◆ 財政の健全性の堅持

- ▶ 市税等の一般財源の確保に努めるとともに、聖域なき歳出の抑制を図り、見込み得る一般財源の範囲内で予算の重点的・効率的な配分に努める。
- ▶ 市債の発行をできる限り抑制する。

◆ 予算の重点的・効率的な配分

- ▶ 能登半島地震の復旧・復興
- ▶ 各種計画に位置付けた事業等の着実な推進

◆ 骨格予算

- ▶ 4月に市長の任期が満了となることから、政策的判断が必要とされる事業のうち、市民生活に支障をきたさない事業は、当初予算に計上しない。

会計別予算

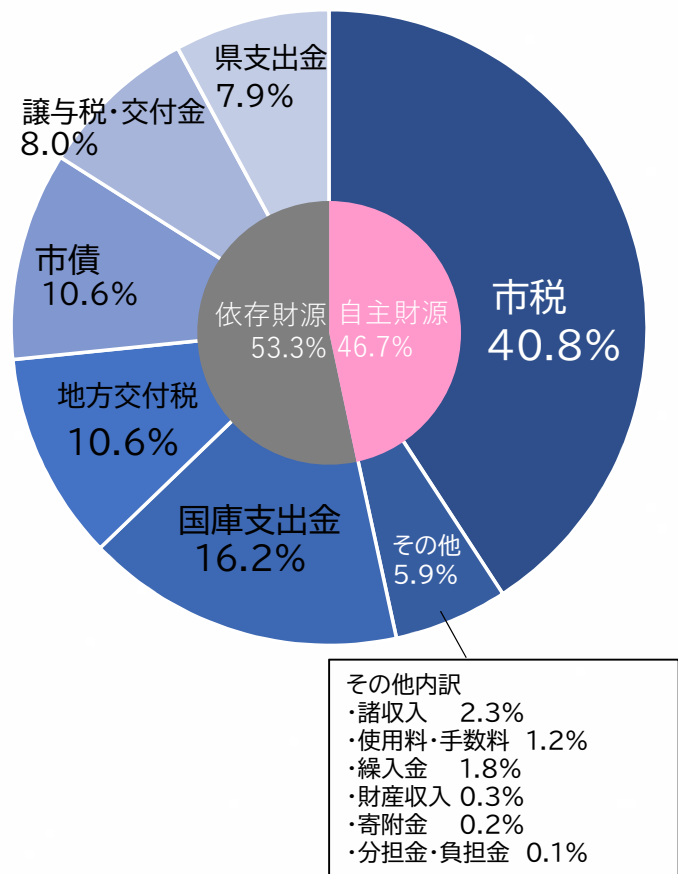
(単位:千円、率は対前年度比)

	令和7年度(案)	令和6年度	増減
一般会計	195,572,923	175,811,218	+19,761,705 (111.2%)
特別会計 (14会計)	146,495,814	136,331,292	+10,164,522 (107.5%)
企業会計 (5会計)	46,864,605	47,555,212	▲690,607 (98.5%)
全会計 (20会計)	388,933,342	359,697,722	29,235,620 (108.1%)

- ◆ 一般会計の当初予算額は、市町村合併後で過去最大
- ◆ 一般会計の増額要因は、水橋学園関連、オーバード・ホール大ホールや総合体育館の大規模改修等によるもの。
- ◆ 特別会計の増額要因は、競輪事業(+68億円)、公債管理(+19億円)、介護保険事業(+13億円)等によるもの。

一般会計歳入予算の概要

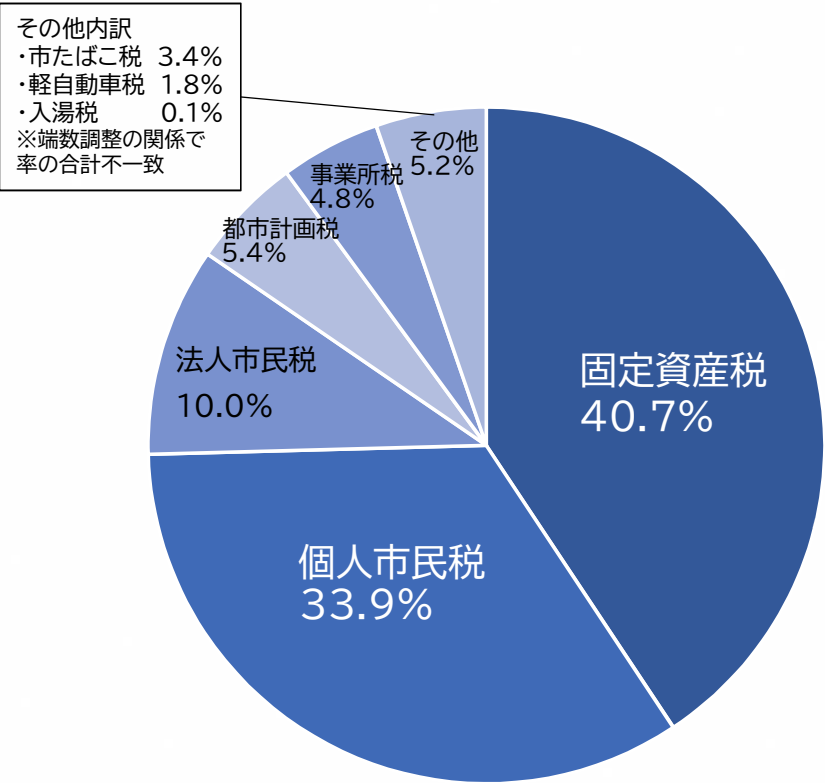
(R7予算額、対前年度比)



- ◆ 市税(79,678,102千円 105.4%)
 - ▶ **合併後最大**(詳細次ページ)
- ◆ 国庫支出金(31,664,427千円 117.2%)
 - ▶ 自立支援給付、児童手当の国庫負担金の増
- ◆ 地方交付税(20,800,000千円 119.5%)
 - ▶ 地方財政計画などを勘案し増
- ◆ 市債(20,771,600千円 167.6%)
 - ▶ 水橋学園整備、オーバードホールや総合体育館の大規模改修の進捗による増
 - ▶ 臨時財政対策債の皆減(R6:18億円→R7なし)
- ◆ 県支出金(15,470,488千円 113.6%)
 - ▶ 自立支援給付の県負担金、こども医療費助成の県補助金の増

市税の概要

(R7予算額、対前年度比)



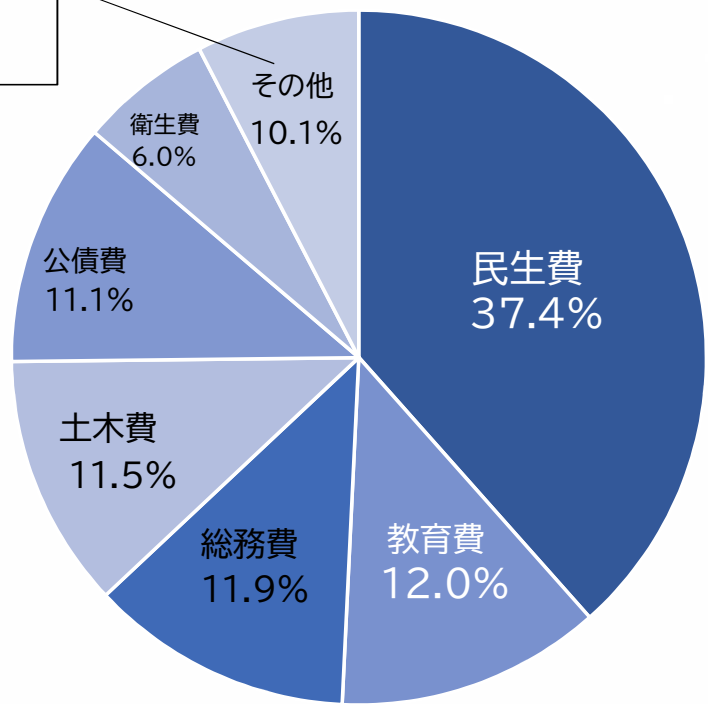
【参考】過去3か年の当初予算における市税
R6:75,622,130千円
R5:76,012,887千円
R4:73,127,689千円
※ 決算額過去最大 R5:76,731,629千円

市税全体(79,678,102千円 105.4%)

- ◆ 固定資産税(32,416,000千円 101.7%)
 - ▶ 宅地化の進展や、家屋の新增築による増
- ◆ 個人市民税(27,005,102千円 111.4%)
 - ▶ R6定額減税の影響(+約18億円)、給与所得の増
- ◆ 法人市民税(7,965,000千円 110.0%)
 - ▶ 企業収益が堅調なことによる増
- ◆ 都市計画税(4,270,000千円 101.4%)
 - ▶ 宅地化の進展や、家屋の新增築による増
- ◆ 事業所税(3,813,000千円 100.6%)
- ◆ 市たばこ税(2,732,000千円 95.8%)
 - ▶ 販売本数の減
- ◆ 軽自動車税(1,433,000千円 103.6%)
 - ▶ 現行税率対象車両の累積増

一般会計歳出予算(款別(目的別))の概要 (R7予算額、対前年度比)

その他内訳
・消防費 3.0%
・農林水産業費 2.7%
・商工費 2.2%
・災害復旧費 1.3%
・議会費 0.4%
・労働費 0.4%
・予備費 0.1%

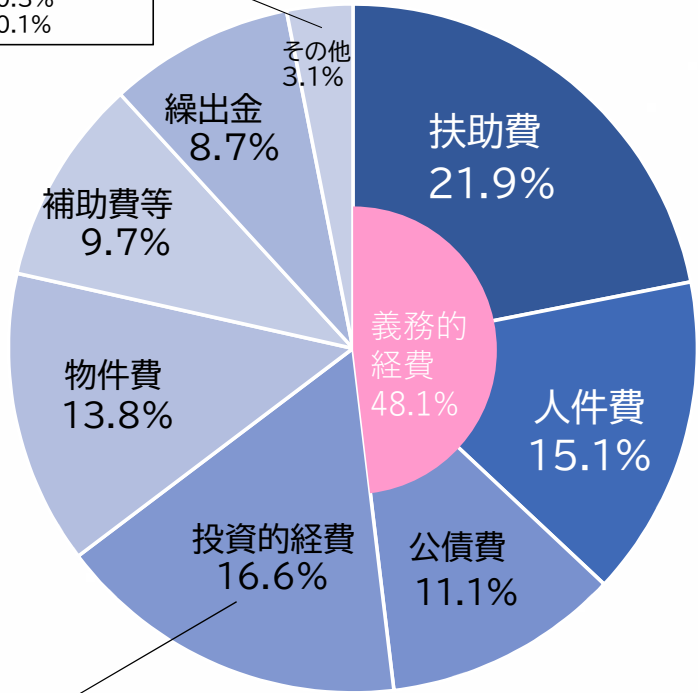


- ◆ 民生費(73,154,225千円 106.4%)
 - ▶ 自立支援給付事業費、児童手当支給事業費等の増
- ◆ 教育費(23,489,675千円 180.8%)
 - ▶ 水橋学園の整備の進捗による増
- ◆ 総務費(23,357,686千円 120.4%)
 - ▶ オーバードホールや総合体育館の大規模改修の進捗による増
- ◆ 土木費(22,533,322千円 95.9%)
 - ▶ 鷹の橋撤去完了による減
- ◆ 公債費(21,803,239千円 102.5%)
 - ▶ 償還元金・利子の増

一般会計歳出予算(性質別)の概要

(R7予算額、対前年度比)

その他内訳
・投資及び出資金 1.1%
・維持補修費 1.0%
・貸付金 0.6%
・積立金 0.3%
・予備費 0.1%



投資的経費内訳
・普通建設事業費(補助) 6.3%
・普通建設事業費(単独) 8.3%
・県営事業負担金 0.7%
・災害復旧事業費 1.3%

- ◆ 扶助費(42,921,538千円 108.7%)
 - ▶ 自立支援給付事業費、こども医療費助成事業費の増
- ◆ 人件費(29,597,606千円 106.3%)
- ◆ 公債費(21,803,239千円 102.5%)
- ◆ 投資的経費(32,602,396千円 173.2%)
 - ▶ うち、普通建設事業費(補助) (12,366,488千円 175.3%)
 - 水橋学園整備の増
 - ▶ うち、普通建設事業費(単独)(16,186,041千円 215.1%)
 - オーバード・ホール大ホール、総合体育館大規模改修工事の増
 - ▶ うち、災害復旧事業費(2,591,808千円 86.1%)

令和7年度当初予算(案)の主な事業

I すべての人が輝き安心して暮らせるまち

(1) すべての世代が学び活躍できるひとづくり

▶ 【新】こどもの居場所づくり支援事業費＜こども支援＞ 700千円

「こどもの居場所」の開設を支援(上限50万円)、事業所内の「こどもの居場所」の開設を支援(上限20万円)

▶ 学びの多様化学校事業費＜教育総務＞ 8,592千円

学校型の小中一貫校の開校準備

▶ 統合校の新設事業費＜学校再編＞ 8,760,907千円

水橋学園(令和8年4月開校)の整備

▶ 【拡】校内サポートルーム設置事業費＜学校教育＞ 22,459千円

教室に入りづらい児童生徒が、自分に合ったペースで学習や生活できる環境を学校内に整備(小中17校→36校)

▶ 学校給食費負担軽減事業補助金＜学校保健＞ 257,428千円

給食費の一部の負担軽減を実施(小中学生1万円/年)



水橋学園(イメージ図)

I すべての人が輝き安心して暮らせるまち

(2) いつまでも元気で暮らせる健康づくり

▶ **【拡】高齢者ふれあい入浴事業費＜長寿福祉＞ 132,236千円**

70歳以上に配布している入浴券を、全地域共通100円券に統一

▶ **高齢者の保健介護予防一体的実施事業費＜保険年金＞ 44,476千円**

後期高齢者の保健事業を、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施 11→18圏域

▶ **【拡】带状疱疹予防接種費＜保健所＞ 324,266千円**

50歳以上の予防接種費用を助成(生ワクチン4千円、不活化ワクチン1万円/回)、65歳等の定期接種

▶ **ボールシティとやまプロジェクト実行委員会負担金＜スポーツ健康＞ 12,500千円**

「マイナビオールスターゲーム2026」の開催に向けた機運醸成、野球人口の拡大、野球を核とした地域振興

▶ **【拡】競技力向上事業費＜スポーツ健康＞ 14,292千円**

ジュニア選手を対象とした強化事業や、トップアスリートとの交流機会の創出



野球教室の様子

I すべての人が輝き安心して暮らせるまち

(3) 誰もが自立し安心して暮らせるまちづくり

▶ **【拡】みんなニッコリ保育サポーター事業費<こども保育> 389千円**

市立保育施設等でボランティア活動をしていただく方の年齢要件を、60歳以上から18歳以上に変更

▶ **【新】こども誰でも通園事業費<こども保育> 10,764千円**

3歳未満の未就園児が月10時間を上限に、保育所等を利用可能(R7は私立施設で実施予定)

▶ **【拡】こども医療費助成事業費<こども福祉> 1,577,701千円**

10月から対象(現行:0歳から中学生まで)を高校生年代(18歳)までに拡充

▶ **【拡】妊産婦医療費助成事業費<こども福祉> 24,542千円**

4月から所得制限を廃止

▶ **【拡】産後ケア事業費(産科医療機関委託事業費)<こども健康> 5,921千円**

産科医療機関において産後ケアを実施(実施医療機関4→6予定)

▶ **【新】1か月児健康診査助成事業費<こども健康> 14,289千円**

1か月児健康診査の受診費用を助成(上限6千円)



みんなニッコリ

育さぼとやま

こどもまんなか推進ロゴマーク

Ⅱ 安心・安全で持続性のある魅力的なまち

(1) 人にやさしい安心・安全なまちづくり

▶ 災害対応用資機材等の整備事業費＜消防＞ 481,347千円

3市(富山、高岡、射水)で共同運航する消防艇の建造(R7～8 継続費総額665,700千円)

能登半島地震関連は16, 17ページに別掲



現消防艇「神通」

(2) コンパクトなまちづくり

▶ 次期都市マスタープラン策定事業費＜都市計画＞ 11,267千円

地域別説明会等の開催、次期都市マスタープランの策定

▶ 南富山駅周辺における拠点まちづくり推進事業費＜都市計画＞ 11,660千円

南富山駅周辺におけるまちづくりの基本計画を策定

▶ 【新】軌道運転士確保事業費＜交通政策＞ 1,451千円

交通事業者と連携し、首都圏の学生などへの周知やセミナーを開催

▶ 【新】ヒト・マチ・Maas賑わい創出事業費＜交通政策・まちづくり推進＞ 19,000千円

路面電車南北接続5周年記念イベントの開催

Ⅱ 安心・安全で持続性のある魅力的なまち

(3) 潤いと安らぎのあるまちづくり

▶ 【拡】鳥獣対策事業費＜森林政策＞ 91,514千円

AIカメラの増設、熊対策活動支援補助金の拡充(警戒パトロール活動500円→1,000円/日、草刈4,000円→2万円/10a)

▶ 元気な中山間地域づくり支援事業費＜農業振興＞ 202,258千円

第6期対策(R7～R11)において、体制のネットワーク化やスマート農業を新たに支援

▶ 【新】農村型地域運営組織形成推進事業費＜農業振興＞ 23,000千円

農地の利用構想の策定や住民主体の農地保全、地域資源活用を取組を支援



棚田の風景

(4) 自然にやさしいまちづくり

▶ ゼロカーボン推進事業費＜環境政策＞ 320,489千円

PPAによる市有地への太陽光発電設備導入(実施事業者への補助事業)

▶ 【拡】資源物ステーション運営事業費＜環境センター＞ 17,395千円

和合地区に開設 8→9か所

Ⅲ 人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち

(1) 新たな価値を創出する産業づくり

▶ 【拡】ベンチャー企業等支援事業費＜商工労政＞ 885千円

市内ベンチャー企業等の、新商品の販路開拓を支援

▶ 【新】飲食業等創業者支援事業費＜商工労政＞ 1,479千円

シェアキッチンを活用したチャレンジショップにおいて創業者等を支援

▶ 【拡】企業誘致対策事業費＜企業立地＞ 9,273千円

県外の製造業や情報通信関連企業を対象に、ニーズアンケート調査を実施

▶ 企業立地奨励事業費＜企業立地＞ 1,163,650千円

工場等を新設、増設、移設した企業に対して、投資額や新規雇用人数に応じて助成

▶ 【新】農林水産物Web販売支援事業費＜農政企画＞ 8,000千円

市内生産者のウェブ販売への参入を支援

▶ 有機農業取組拡大推進事業費＜農業水産＞ 10,016千円

オーガニックビレッジ宣言に基づいた、有機農業の取組や面積拡大を支援

▶ スマート農業等基盤整備推進事業費＜国営農地再編整備推進＞ 2,098千円

水橋地域におけるスマート農業の普及啓発



スマート農業機械による作業風景

Ⅲ 人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち

(2) 観光・交流のまちづくり

▶ 【拡】移住促進事業費＜企画調整＞ 78,210千円

移住促進プラットフォーム構築や、専用LINEアカウントによる個別アプローチ

▶ 【拡】「すしのまち とやま」ブランド化事業費＜観光政策＞ 14,000千円

3大都市圏でのプロモーションや、東京駅でのます寿司食べ比べイベントを開催

▶ 【新】魅せるおわら事業費＜観光政策＞ 4,000千円

モーショングラフィックスによる演出の、おわらのステージ上演



(3) いきいきと働けるまちづくり

(4) 歴史・文化・芸術のまちづくり

▶ 【新】TOYAMAから世界への舞台芸術発信事業費＜文化国際＞ 13,117千円

おわら風の盆と、おわらから着想を得たオリジナルダンスを大阪・関西万博で披露

▶ 【新】ガラス美術館開館10周年記念事業費＜ガラス美術館＞ 5,304千円

シンポジウムや10年の歩み展(ポスター展)を開催

IV 共生社会を実現し誇りを大切にする協働のまち

(1) 市民協働による共生社会づくり

▶ 電子回覧板導入支援事業費＜地域コミュニティ推進＞ 2,220千円

町内会等の電子回覧板アプリの導入に対して助成(初期導入費6.6万円)

▶ 地域コミュニティ活性化チャレンジ支援事業費＜地域コミュニティ推進＞ 1,500千円

町内会等が「元気な地域」となるよう取り組む事業に対して助成(事業費の1/2、上限10万円)

▶ 地域ふれあい活動支援事業費＜市民協働相談＞ 1,623千円

町内会等が開設する地域の食堂に対して助成(上限26万円)、地域団体等と連携して行う青年交流事業に対して助成(上限10万円)



電子回覧板イメージ

(2) 市民の誇りづくり

▶ 【新】合併20周年記念事業費＜企画調整、行政経営、秘書、広報、文化国際＞ 54,038千円

記念式典、市民参加イベントを開催

▶ 【新】WEBターゲティングプロモーション事業費＜広報＞ 2,700千円

WEB広告を用いたプロモーションを実施

▶ とやま森の四季彩フォト大賞開催事業費＜森林政策＞ 7,110千円

第10回とやま森の四季彩フォト大賞を開催



前回のフォト大賞作品

IV 共生社会を実現し誇りを大切にする協働のまち

(3) しなやかな行政体づくり

▶ 総合計画策定等事業費＜企画調整＞ 27,490千円

第3次富山市総合計画(R9～R18)をR7～R8で策定

▶ 【新】企業版ふるさと納税促進事業費＜企画調整＞ 31,757千円

マッチングプラットフォームの構築、個別アプローチ(成果連動型民間委託方式)

▶ 学校跡地等活用事業費＜行政経営＞ 47,898千円

旧八人町小学校跡地活用に向けた解体設計、基本設計

▶ 【拡】職員採用強化事業費＜職員＞ 1,815千円

採用試験会場を新設(東京、大阪)

▶ 【拡】自治体DX推進事業費＜情報システム＞ 23,000千円

RPAの導入推進や行政手続のオンライン化推進、施設予約システムの導入

▶ スマートシティ推進支援事業費＜スマートシティ推進＞ 18,172千円

スマートシティ推進プラットフォーム(SCRUM-T)の運営

▶ スマートシティ推進プロジェクト創出事業費＜スマートシティ推進＞ 21,530千円

プラットフォーム会員によるスマートシティ関連サービスの実証事業を支援(事業費の3/4、上限500万円)



ハチマルシェの様子

復旧・復興ロードマップ関連の主な事業

I 住宅・暮らしの再建

▶ 被災者生活再建支援金＜福祉政策＞ 35,011千円

半壊 最大100万円、準半壊 最大50万円(申請期限:令和9年1月末)

▶ 【拡】木造住宅耐震改修等支援事業費＜居住政策＞ 33,140千円

木造住宅の耐震改修工事を助成(設計費の2/3・上限20万円、工事費の4/5・上限120万円)、
ブロック塀等の建替や撤去費用を助成(事業費の2/3、上限10万円(撤去)・15万円(撤去・建替))

▶ 【拡】被災木造住宅耐震改修等支援事業費＜居住政策＞ 81,460千円

被災した住宅の現地建替え又は耐震改修工事を助成(事業費の4/5, 上限140万円)、
被災した宅地の地盤改良等を助成(事業費の2/3, 上限766万6千円)、
被災した住宅の基礎補強や沈下傾斜対策工事等を助成(上限30万円)

▶ 液状化対策検討事業費＜建設政策＞ 11,300千円

宅地と道路等の一体的な液状化防止対策の検討

復旧・復興ロードマップ関連の主な事業

Ⅱ 公共インフラの復旧

- ▶ 漁港施設災害復旧事業費＜農業水産＞ 16,500千円
- ▶ 農地・農業用施設災害復旧事業費＜農村整備・農地林務＞ 778,718千円

Ⅲ 地域産業の復旧

Ⅳ 地域防災力の強化

- ▶ 【新】要配慮者対応資機材整備事業費＜防災危機管理＞ 2,000千円
避難所に福祉資機材(救急用品等)を配備
- ▶ 【新】避難所解錠設備整備事業費＜防災危機管理＞ 42,000千円
第1次避難所(78か所)入口に、震度感知式・ダイヤル式キーボックス等を設置
- ▶ 【新】災害廃棄物対策事業費＜廃棄物対策＞ 10,030千円
災害廃棄物処理計画の見直し、初動対応マニュアルの作成



震度感知式・ダイヤル式キーボックス（イメージ）

ヒマワリプロジェクト事業

- ▶ ヒマワリプロジェクト事業費＜農業水産＞ 2,600千円
本市の草花であるヒマワリで夏場の美しい田園風景の創出する緑肥用ひまわりの作付を支援(2.5万円/10a)
- ▶ 牛乳消費拡大推進事業費＜農業水産＞ 3,660千円
ヒマワリロゴ入り牛乳パックの作成
- ▶ 【新】ヒマワリプロジェクト事業費＜営農サポート＞ 265千円
敷地内の地鉄沿線沿いでヒマワリの露地栽培
- ▶ 【再掲】ヒト・マチ・Maas賑わい創出事業費＜交通政策・まちづくり推進＞ 19,000千円
路面電車南北接続5周年記念イベントの開催(富山駅でヒマワリ展示)
- ▶ 【拡】ひまわりプロジェクト事業費＜公園緑地＞ 27,820千円
本市の草花であるヒマワリを地域住民等と植栽



インバウンド対策等の主な事業 ※3月補正予算案 (ニューヨーク・タイムズ「2025年に行くべき52か所」選定関連)

▶ 選ばれるまちづくり事業費<広報> (3月補正) 8,290千円

ANA機内誌へのPR記事掲載、クレイグ・モド氏の招聘、「AMAZING TOYAMA」フォトスポット設置

▶ 富山ガラス工房事業費<文化国際> (3月補正) 20,000千円

パンフレットの多言語化、案内サインの英語併記、翻訳機の導入

▶ ガラス美術館管理運営事務費<ガラス美術館> (3月補正) 9,690千円

多言語対応オンラインチケット購入システムの運用、音声ガイドの多言語化、コインロッカーの増設

▶ カラス対策事業費<環境保全> (3月補正) 13,000千円

目隠し柵の設置、捕獲体制の強化

▶ 観光客誘致宣伝費<観光政策> (3月補正) 70,500千円

観光協会HPリニューアル、市内事業者向け外国人対応の相談支援、おわら資料館や八尾曳山展示館の多言語対応、広域連携、
バナーフラッグ、「ジャパンパレード&ストリートフェア」への参加

▶ 生活交通対策事業費<交通政策> (3月補正) 4,600千円

デジタルサイネージ、まいどはやバスの英語対応

▶ フロアシャンドリア認知度向上事業費<富山駅周辺地区整備> (3月補正) 4,000千円

フロアシャンドリアの案内表示